

## 株式の二面性 将来価値と既存価値

**1** 上場株式の価格は取引所で決定されますが、この価格には二つの価値の評価の合算になっています。二つの価値とは将来価値と既存価値です

**2** 既存価値とは、会社が現時点で開催した考えたとき株主との手元に戻ってくる価値です。将来価値とは、まさに将来の営業によって生み出されるであろう価値です

**3** 株式や株式投資信託に投資するときには、どちらの価値に重きをおいて投資しているのか考えるとよいでしょう。両方を求めるとうまくいかないかもしれません

### 二つの価値

株式には二つの価値があります。一つは、既存価値というべきもので、既に会社の中に留保されている価値です。もう一つは、会社が営業を続けることによって将来生み出される(未だ確定していない)価値です。

株価というのは、1株あたりの、この2つの価値の合算した金額と考えられます。

### 株式には2つの価値がある



### バリュー株とグロース株

既存価値の割合が比較的大きい株式のことをバリュー株といいます。たとえば、東京ガスやJR東日本など。大きな会社で、その株式を保有していれば、安定した配当収入が期待でき、大きく値崩れすることもないというイメージです。

将来価値の割合が大きな株式のことをグロース株といいます。たとえば、

数十年前のアマゾンやソフトバンクなどが該当するでしょう。ビジネスが急成長して、将来の成長が期待できる銘柄です。



### 両方を求めない

投資家としてみれば、将来価値も既存価値もほしいところですが、それはあきらめましょう。そのような株式はあり得ません。だから、どちらかに的を絞った運用が賢明です。

投資信託の目論見書などに、バリュー投資やグロース投資の文字が並んでいるのは、どちらの価値に注目しているのか、投資家に情報を提供するためなのです。

資産運用に関する相談はお気軽に

**Barms**  
Corporation Co., Ltd.

発行元:バームスコーポレーション(有)  
神奈川県川崎市宮前区土橋2-2-2-301  
tel (044) 854-8480 fax (044) 856-7268  
mail pinfo@barms.jp http://www.barms.jp